

一般の部

「平和とは」
内省時点で
平和ボケ

やめろ！
やめろ！
戦争をやめろ！

破壊はあらゆる色をはぎとって
すべてを灰色で埃まみれにしよう
色鮮やかな世界で生きていたい

なんの憂いもなく推し活をしたい
アクスタの値上がりを悲しみたくない
制限なく、好きなことをさせてください

色のない世界なんてまっぴらだ
カラフルなものに囲まれて、幸せを感じたい
誰も悲しまず、無理せず、自由に生きていたい

けんかしないで、あらそわないで
いいあいなんて、みたくないのききたくないの
えがおでおしゃべりをしたい、それだけなの

わたしたちが自由に
詩を書き、絵を描き、歌を詠み
表現することを制限されない世界

あなたもわたしも、
自由に、傷つけあわない、
そんな世界が続いてほしい

これからも、平和って、
誰かに脅かされず、
当たり前のものであってほしい

平和であることが難しくなりそうな世界に不安があるけれど、
皆で考え守っていききたい

戦争が終わった日、それで全てがゼロになる訳ではなかった
焼け野原になった街、戦争孤児、食糧難、
戦争を経験した全ての人々が負った心の傷…
みんな大切な何かを失っていた だから私たちは誓う、
戦争は始めてはいけないと

私が「お誕生日おめでとう」と言ってもらえるその日、
81年前には「出撃おめでとう」と言われ、
多くの若者達が南の海に向かって飛び立っていった
私達は彼らを忘れてはいけない
そして、戦争の歴史を繰り返してはいけない

静かな朝、窓の外に同じ空が広がっている。
違う言葉でも、笑うときの顔はみんな同じだった。
その当たり前が続くように、今日も小さな平和を選ぶ。

辛かった時代遠のこうとも語り継いで
過去と未来の人々が繋がり紡ぐ世界
「またあした」がある幸せを噛み締める

夕飯を食べながら話す今日のこと。
勇気を振り絞り走った
どこにも載らない人助けがこの世界にはたくさんあるのだろう

愛する人が戦地に向かう想像をする 私には耐えきれないことだろう
昔はこんなことが本当に起きたんだ、
と言えることすら有難い今の中で生きる
私は未来に何を託すか、積み重ねるなら希望がいい。

「また明日」
この願いを日々
叶えよう

放課後の図書館から、四人の男子学生の声が聞こえてきます。
快活な話し声に、ときどき混ざる笑い声。
時代は、昭和から令和へと移りましたが、
決まって五月の夕暮れ時に彼らはやってくるのです。

混迷する日本をどうするのか。米国や英国とどう渡り合うのか。
俺たちはどう生きるべきなのか。四人の議論は続きます。
時には、数学教師の話やクラスの女子の噂話もしています。
私は本を読むふりをして、彼らの話をこっそりと聞いています。

世界は、すでにA Iを駆使し半導体技術の発展によって、
彼らが想像したこともなかった未知の領域を歩んでいます。
いま、ふたたび戦争という「人類の危機」が無いように、
また四人の熱気あふれる話を聞くことができるよう願っています。

君は澄んだ目をして、はるか空を見あげている。
私も、さっきから空を見あげている。
同じ「八月の空」なのに、空は全く違う色をし、違った風が吹いている。
君と私が住んでいる街は遠く離れていて、街の景色も匂いも随分と違う。
だから、私にとっての明日は「今日の続き」
でも、君にとっての明日は「最後の日」であり、
死という受け入れることのできない苦しみと闘っているのだ。
実際、私にも明日のことなど分らないが、
「世界中が穏やかで、誰にとっても大切な一日であって欲しい。」
と空に願っている。

平和って何だろう？
実は今この瞬間
忘れてる当たり前だと思ってる

息子見て
友と楽しそうに笑い合う姿
幸せだな平和だなと思う母

当たり前じゃない
生きてる今
奇跡の連続

ブドウ畑にいるときに、あなたの笑顔を思い出す
わたしにとっての平穏は
この永遠のときにある

私の正義とあなたの正義は
ぶつかってしまうかもしれない
けれど平和は 平和だけは 共につくっていききたいのです

わたしの平和は朝
清々しい空気に包まれ目が覚めること
あなたの平和は なんですか

他国の人を傷つけることも
自国の人を傷つけられることもなかった80年
その重みと尊さをかみしめる

ケンカの道具を準備すると
周りはさらに準備する
人類は言葉というハイレベルな道具を持っているのに

推しのライブに行けること
お気に入りの歌を聴いたり歌うこと
当たり前のような日常が壊されないよう声をあげる

日々の当たり前の平和は、誰かの努力の賜物
私得のための努力を、平和を築くための努力へ
そう願いを込めて私は未来を歩みたい

日々の当たり前の平和は、誰かの努力の賜物
戦火の歴史を学び続け、一人ひとりの小さな努力で平和を守り、
世界へ広げたい

異国の地で戦火の残酷さを学び、伝える。
それが、今の私にできる平和への第一歩
この学びを胸に、世界へ平和を広げ、守りたい

空眺め
平和の鏡
白い鳩

苦しくても
生きてるだけで
平和だな